

共生社会フォーラム in 広島

福祉支援語り部養成研修〈1日目〉

おなまえ

スクリーン

D

<グループD>
メンター：〇〇
〇〇〇〇/〇〇〇〇/
〇〇〇〇/〇〇〇〇

C

<グループC>
メンター：〇〇
〇〇〇〇/〇〇〇〇/
〇〇〇〇/〇〇〇〇

B

<グループB>
メンター：〇〇
〇〇〇〇/〇〇〇〇/
〇〇〇〇/〇〇〇〇

A

<グループA>
メンター：〇〇
〇〇〇〇/〇〇〇〇/
〇〇〇〇/〇〇〇〇

本研修の目的

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、“生きる意味のない命がある”、“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する声もあるなかで、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。**誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念**等について学び、自らの実践につなげ、さらには**所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修**を組み込んだフォーラムを実施します。

01

本研修に関わるスタッフ

【メンター】

個人、グループ作業など、わからないことがあったら、
まずは、この人に聞きましょう。

【アドバイザー】

特定のグループではなく、会場全体を巡回しています。
積極的に、アドバイスをもらいましょう。

【進行役】

研修全体の運営と調整、進行を担当します。

【事務局】

研修全般に関すること、わからないことがあれば聞いてください。

02

福祉支援語り部養成研修 一般プログラム

プログラム・内容	シート
基調講演① 「共生社会に求められるアダプテッド・スポーツの重要性」 加地 信幸 氏 広島文化学園大学 人間健康学部 スポーツ健康福祉学科 学科長・教授 1971年広島県出身。県立広島特別支援学校教諭などを経て2017年より広島文化学園大学教授。県立広島女子大学大学院修士課程修了。重度障害児者のスポーツや指導者養成が専門。2007年にHBG重度・重複障害児スポ・レク活動教室「はなまるキッズ」設立・代表。博報賞特別支援教育部門（2017）、文部科学大臣表彰（2021）、保健文化賞（厚生労働大臣賞ほか、2022）など受賞。著書に障害児体育の授業など多数。	2
基調講演②「いのちに意味がある ～私たちは何を大切にしてきたのか～」 奥田 知志 氏 植草学園大学副学長・教授／毎日新聞客員編集委員 1963年滋賀県生まれ。関西学院大学・大学院卒。東八幡キリスト教会牧師、NPO法人抱模理事長、NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク理事長、公益財団法人共生地域創造財団代表理事、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事、一般社団法人全国居住支援法人協議会共同代表。NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演。著書多数。	3
【映像】NHKスペシャル「ラストメッセージ この子らを世の光に」 日本初の公的福祉施設「近江学園」設立に尽力した糸賀一雄と彼を支えた池田太郎や田村一三らについて紹介。障害のある子どもたちと寝食を共にし、生き生きと暮らす糸賀や職員たちの姿を記録した当時のフィルムに映るのは、まさに「福祉」の原点と言える。	4

03

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

§	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	共生社会の根幹にある、 福祉の思想と普遍的な価値を 理解する	【ワークA】研修プログラム①を考える 【ディスカッション】共生社会について考える 【全体共有】
B 16:55~ 翌14:30	相模原障害者施設殺傷事件に対する さまざまな意見から多様な考え方と “違い”を理解する 「問いかけ」を言語化し、 共感のためのいくつかの 「語りかけ」を言語化する	【ワークB-0】感情の整理 【オリエンテーション】 【ワークB-1】感情の源泉の整理 【ワークB-2】「問いかけ」による言語化 【グループ共有】 【オリエンテーション】 【ワークB-3】「語りかけ」による言語化 【ディスカッション】「問いかけ」「語りかけ」の検証 【全体共有】
C 14:40 ~16:00	自分の職場をイメージしつつ、 語りの場を実践していくための アクションプランを作成する	【オリエンテーション・事例紹介】 【ワークC-0】語る相手を想定する 【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理 【ワークC-2】アクションプランの作成 【ワークC-3】アクションプランの共有と更新 【まとめ】総括と決意表明テスト

04

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

S	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	◎二元論の思考・発想ではなく どちらともいえないという第三軸 ◎答えはでないという考え方	
B 16:55~ 翌14:30	◎自分の内面（感情・思考）と向き合う ◎“もやもや”との対話 「わからない」「もやもや」の言語化 「問いかけ」と「語りかけ」による対話	
C 14:40 ~16:00	◎実際に、語りの場を考える	

04

【オリエンテーション】

所要時間 30分	【作業内容】 ・研修プログラムの概要説明 ・アイスブレイク＋チェックイン
-------------	--

メンターの3つの役割

その① 時間管理

- ◎作業/共有/議論の時間は限られています。グループの状況をふまえて、調整の有無など進行役に合図してください。
- ◎受講生は作業に集中して、時間を意識外に置きがちです。作業状況を見ながら、時間の経過や残り時間を伝えてください。残り時間によっては、その後の時間配分と作業内容の修正を行い、時間内にまとめてください。
- ◎議論が白熱した状態で、残り時間が少なくなった時には残り時間を伝え（進行役も全体にアナウンスします）、収束を促して、次の話題やテーマにとりかかりましょう。

メンターの3つの役割

その② 司会進行

- ◎グループで「内容共有」と「意見交換」をおこないます。基本的には、異なる意見を持つメンバーがフラットに意見交換できる場づくりが求められます。
- ◎「内容共有」では、決められた時間のなかで、テーマに対して、全員が意見を出す（作業内容を報告する）ことが重要です。伝える内容の優先順位を意識づけしましょう。
- ◎「意見交換」では、場面に応じ、何から議論をしていくか決め、メンバーの意見を引き出すための的確なパス回しの役割が求められます。

メンターの3つの役割

その③ 記録確認

- ◎メンバーから出された意見を整理しながら、議論の流れをコントロールする役割が求められます。
- ◎受講生の理解を深めるために、発言を書き留めながら、共通するキーワードを見つけたり、混乱した意見を整理するために図式化したり、議論があらぬ方向に進み始めたときに軌道修正することが求められます。
- ◎また、全員が発言できているかを確認し、発言回数が少ないメンバーがいれば、どう考えているのかなどを聞く「確認作業」も忘れずに。

メンターの引き出し

状況、メンバーのリアクションをふまえて、引き出しの言葉を効果的に使って、議論をすすめましょう

【深掘りする】「もう少し詳しくきかせて～」、「例えば？」

【要約・翻訳】「要は、～ですね」、「～というത്？」

【話題を振る】「他には？」、「どんな感じですかね～？」

◎現場や実情を知りすぎて、自由に意見が出せない受講生がいる場合があります。まずは、この場が、その人の立場から、望ましい改善方法や技術的な解決を考えるための時間ではない、ということを伝えてあげてください。立場や課題を切り離して、この正解のない（誰も答えがわからない）問題に対して、個人として、かつ、グループのメンバーと一緒に向き合う時間であり、「あなたは（人として）どう思うのか、どう感じているのか」という部分を中心に、意見や言葉を引き出してください。

アイスブレイクとチェックイン

チェックインはアイスブレイクに含まれるとも言える

【アイスブレイク】

メンバー個人やグループの緊張をほぐすための時間。
共同で簡単な作業やワークをすることが多い。

【チェックイン】

メンバー個人の気持ちを調整するための時間。
どんな状態や気持ちにあるかを共有することが多い。

「研修に対する期待と不安」に重要なヒントがあり、
特に不安はフォローをしつつ、研修を進める。

重たい話題やテーマは、入り口の雰囲気づくりが重要

アイスブレイク：誕生日順に並ぶ

【進め方】

○ 1月1日から誕生日の早い順に、一列に並びましょう
生年ではなく、月日だけで並ぶこと！

- ・ ルールは、声を出さない、手を使わない（腕組みする）
- ・ 全員が1列に並び終えたグループは、
最も早い誕生日の人が手をあげて、進行役に合図
- ・ 全グループが並び終えたら、グループで答え合わせ
- ・ 間違った場合は入れ替わる
- ・ 誕生日が今日に近い人には拍手を！

チェックイン

メンバーが、それぞれどんな状態や気持ちにあるかを共有する。グループで調整していくための時間。

不安や苦手は、グループ全員でフォローしましょう

【進め方】

- ・メンバー全員で「シート1を使った自己紹介」
＋「今回の研修に対する期待と不安に感じること」を共有
- ・まずはメンター、心の準備ができた人から順番に
- ・各自の持ち時間は1分、メンターも含め全体で7分

【事前準備シート】福祉支援語り部（中堅）

シート
No. 1

ふりがな	職種	福祉実務での 経験年数
おなまえ	所属	
〈研修に参加した動機〉 ☐ 自ら希望して ☐ 推薦 または 指名されて ☐ その他（ ）		
〈研修に参加した理由〉		〈研修にあたっての不安〉
〈相模原障害者施設殺害事件のことを聞いて、 あなた自身、その当時、感じたこと、考えたこと〉		〈相模原障害者施設殺害事件のことを聞いて、 あなたの職場や周囲で、おこった反応や感じた雰囲気〉
〈赤貫一雄関連資料（テキスト「ほほえむから」およびテキスト資料1・2 p.1～60）を読んでの感想〉		

別紙でA3のワークシートを同封しています

テキスト
アンダーラインやふせん等でチェックしてください。またそこからいくつかを取り上げて、内容（ポイント）を整理し、
なぜ気になったのかも含めて以下にまとめてください。

気になった部分（ページ数・上から〇行目など）	書かれている内容となぜそれが気になったか

【事前準備シート】福祉支援語り部（中堅）

シート
No. 1

ふりがな	職種	福祉実務での 経験年数
おなまえ	所属	
〈研修に参加した動機〉 ☐ 自ら希望して ☐ 推薦 または 指名されて ☐ その他（ ）		
〈研修に参加した理由〉	〈研修にあたっての不安〉	
〈相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、 あなた自身が、その当時、感じたこと、考えたこと〉	〈相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、 あなたの職場や周囲で、おこった反応や感じた雰囲気〉	
〈先習一環関連資料（テキスト「ほほえむから」およびテキスト資料1・2 p.1～60）を読んだ感想〉		

テキスト資料3・4・5の相模原障害者施設殺傷事件に関連する資料（p.61-91）を読んで、あなたが気になった部分を
 アンダーラインやふせん等でチェックしてください。またそこからいくつかを取り上げて、内容（ポイント）を整理し、
 なぜ気になったかも含めて以下にまとめてください。

気になった部分（ページ数・上から〇行目など）	書かれている内容となぜそれが気になったか

【ワーク A】

一般プログラムについてふりかえる

所要時間 40分	【作業内容】 ・ シート2・3・4をもとに、シート5の各項目に個人で整理する：10分 ・ グループで作成内容を共有する：20分 持ち時間 1分 で報告×2回 ①「学び・気づき」→②「疑問・違和感」
--	--

福祉支援語り部養成研修 一般プログラム

プログラム・内容	シート
基調講演① 「共生社会に求められるアダプテッド・スポーツの重要性」 加地 信幸 氏 広島文化学園大学 人間健康学部 スポーツ健康福祉学科 学科長・教授 1971年広島県出身。県立広島特別支援学校教諭などを経て2017年より広島文化学園大学教授。県立広島女子大学大学院修士課程修了。重度障害児者のスポーツや指導者養成が専門。2007年にHBG重度・重複障害児スポ・レク活動教室「はなまるキッズ」設立・代表。博報賞特別支援教育部門（2017）、文部科学大臣表彰（2021）、保健文化賞（厚生労働大臣賞ほか、2022）など受賞。著書に障害児体育の授業など多数。	2
基調講演②「いのちに意味がある ～私たちは何を大切にしてきたのか～」 奥田 知志 氏 植草学園大学副学長・教授／毎日新聞客員編集委員 1963年滋賀県生まれ。関西学院大学・大学院卒。東八幡キリスト教会牧師、NPO法人抱模理事長、NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク理事長、公益財団法人共生地域創造財団代表理事、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事、一般社団法人全国居住支援法人協議会共同代表。NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演。著書多数。	3
【映像】NHKスペシャル「ラストメッセージ この子らを世の光に」 日本初の公的福祉施設「近江学園」設立に尽力した糸賀一雄と彼を支えた池田太郎や田村一三らについて紹介。障害のある子どもたちと寝食を共にし、生き生きと暮らす糸賀や職員たちの姿を記録した当時のフィルムに映るのは、まさに「福祉」の原点と言える。	4

03

ワークシートの使い方

◎自分の内面と向き合う

この研修は、技術習得や課題解決が目的ではありません。自分の内面と向き合うことで、思いや考えを整理することが目的です。

◎他人に伝えるための整理

限られた時間で考えや意見をきちんと伝えるためには、内容を整理し、優先順位をつけることが重要です。特に1分の場合、テーマを2つ程度に絞ると効果的です。また、無理にまとめようとせず、わからないものはわからないものとして、整理することも大切です。

◎事前準備の重要性

テキストは自分の内面と向き合うための1つのきっかけです。また、グループの議論をより深いものにするために、テキストを読んで、事前準備シートの記入をお願いします。

05

研修中のルール

①限られた時間を有効に使うために

◎準備はしっかりしましょう

＜基本的な流れ＞ 個人作業→グループ共有→議論

◎個人作業

ワークシートは、文章ですべてを埋める必要はありません。

自分がまとめやすいように、キーワードの列挙でもかまいません。

◎グループ共有／議論

この研修では議論の密度が、各自の成果や成長に直結するといっても過言ではありません。積極的な発言と主体的な参加が期待されるとともに、研修を早退・遅刻をすることは、自分だけでなく、他のメンバーの成長の機会を奪うものであることを認識してください。

10

研修中のルール

②正解のない問題に向き合うために

◎対等な立場で接しましょう 役職・年齢・関係を気にしない

◎建設的に対話を進めていきましょう

◎色眼鏡をかけず、物事を広い視野と心で見ましょう

◎積極的にディスカッションに参加する

発言の責任を意識しすぎない、突飛な意見でも恥ずかしがらずに。

思いつき歓迎、ただし、テーマから外れないように注意。

そして、遠慮なくパスする勇気を。

→今は「わからない」、「どちらともいえない」という選択肢

11

研修中のルール

③一緒に考えるメンバーに、尊重の念を表す

◎意見を述べている人に体・目線を向ける

◎自分と違う意見も、最後まで聞く

さえぎらない、批判・批評（でも、それってさ～）はNG！

だからといって「肯定」しなくてもよい

⇒「否定をしない」≠「賛同・認める」

◎あいづち、うなづきなどジェスチャーを入れる

「うんうん」「そうそう」などもGood！

「なるほど」「へ～」「いいですね～」など、賞賛の言葉を述べる

とにかく、話しやすい雰囲気をみんなでつくる

12

福祉支援語り部養成研修

section A

15:00-16:55

13

福祉支援語り部養成研修 セクション A

時刻	プログラム	内容	シート
15:00	【ワーク A】 40分 一般プログラムをふりかえる	・ 一般プログラムで考えたことを整理する ふりかえりシート 5 記入 10分 グループ内での共有 25分	2-5
15:40	休憩		
15:55	【ディスカッション】 40分 共生社会について考える	・ 共生社会についてディスカッション ・ 模造紙とポストイットで整理	6
16:35	【全体共有】 20分	・ メンターから共有 ・ アドバイザーからコメント	7
16:55	セクション B 〈前半〉 へ		

14

福祉支援語り部養成研修 セクション A

時刻	プログラム	内容	シート
15:00	【ワーク A】 40分 一般プログラムをふりかえる	◎自分の考えを整理する ◎限られた時間で 優先順位をつけて伝える	2-5
15:40	休憩		
15:55	【ディスカッション】 40分 共生社会について考える	◎メンバーの考えをふまえて、 議論と意見交換をおこなう	6
16:35	【全体共有】 20分	◎他グループの議論を共有	7
16:55	セクション B 〈前半〉 へ		

14

【メモ】 基調講演①での学びや気づき、気になった点をメモしましょう

シート
No. 2

研修開始までに、下記の内容を整理してください（研修で使います）。

〈印象に残ったこと〉

〈基調講演①から得た学び・気づき〉

07

【メモ】 基調講演②での学びや気づき、気になった点をメモしましょう

シート
No. 3

研修開始までに、下記の内容を整理してください（研修で使います）。

〈印象に残ったこと〉

〈基調講演②から得た学び・気づき〉

08

【メモ】映像での学びや気づき、気になった点をメモしましょう

シート
No. 4

研修開始までに、下記の内容を整理してください（研修で使います）。

〈印象に残ったこと〉

〈映像から得た学び・気づき〉

09

【ワーク A】一般プログラムについてふりかえる

シート
No. 5

〈一般プログラムから得た学び・気づき〉

〈疑問・違和感〉

実は、今ひとつ納得できていないことが...
確かにそれが理想だけど、現在現実を考えると...
今さら、こんなことは聞きづらいのだけど...

〈グループメンバーの考え・意見：自分とは異なる視点、新たな気づきや疑問、違和感〉

15

【ワークA】一般プログラムについてふりかえる

シート
No. 5

2つの項目について自分の考えをまとめる 10分程度

〈グループメンバーの考え・意見：自分とは異なる視点、新たな気づきや疑問、違和感〉

- ・このシートは、意見交換に向けて考えを整理するための準備です
- ・枠内をすべて埋める必要はなく、キーワードの列挙でもOK

15

【ワークA】一般プログラムについてふりかえる

シート
No. 5

〈一般プログラムから得た学び・気づき〉

持ち時間
1分

〈疑問・違和感〉

実は、今ひとつ納得できていないことが...
確かにそれが理想だけど、現在現実を考えると...
今さら、こんなことは聞きづらいのだけど...

持ち時間
1分

＊メンバーに各項目を1分で共有する

- ◎各シートのメモをもとに、「伝えたい」「大事だ」と思う内容をそれぞれの枠に2つ程度に整理していきましょう
 - (1) 事前学習から得た学び・気づき（共有：10分）
 - (2) 事前学習での疑問や違和感（共有：10分）
- ◎他のメンバーの共有から得られた気づきなどをメモしましょう
→メンターは出た意見を整理してください

15

【休憩】

15:55に再開します

- ・ 模造紙・ふせん・マーカー
テーブルに準備

【ディスカッション】

共生社会について考える

所要時間
40分

【作業内容】

- ① メンターによる疑問や違和感の整理
- ② 「共生社会と呼べる状況」「共生社会と叫べない状況」「どちらともいえない状況」をふせんに書き出す
- ③ 意見交換

【ディスカッション】グループ発表用まとめ

シート
No. 6

共生社会と呼べる状況

わからない
どちらともいえない状況

共生社会と呼べない状況

16

【ディスカッション】グループ発表用まとめ

シート
No. 6

共生社会と呼べる状況

わからない
どちらともいえない状況

共生社会と呼べない状況

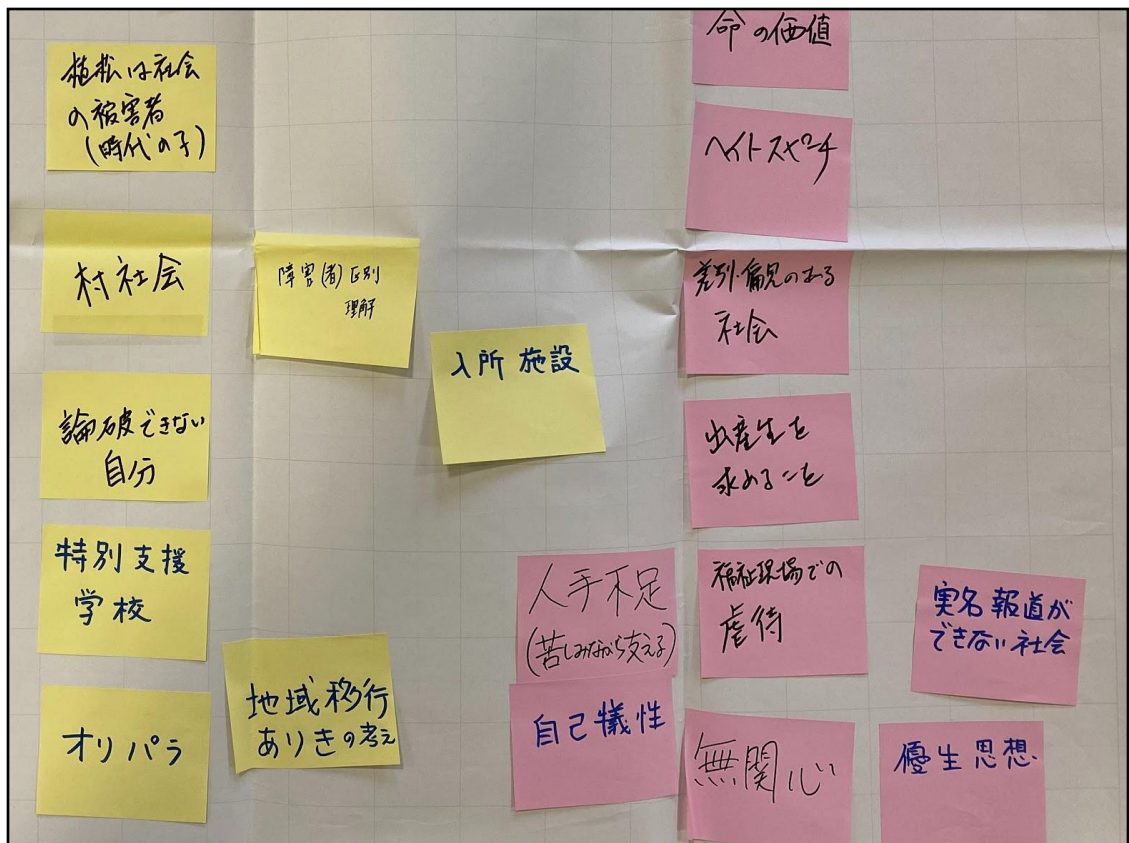
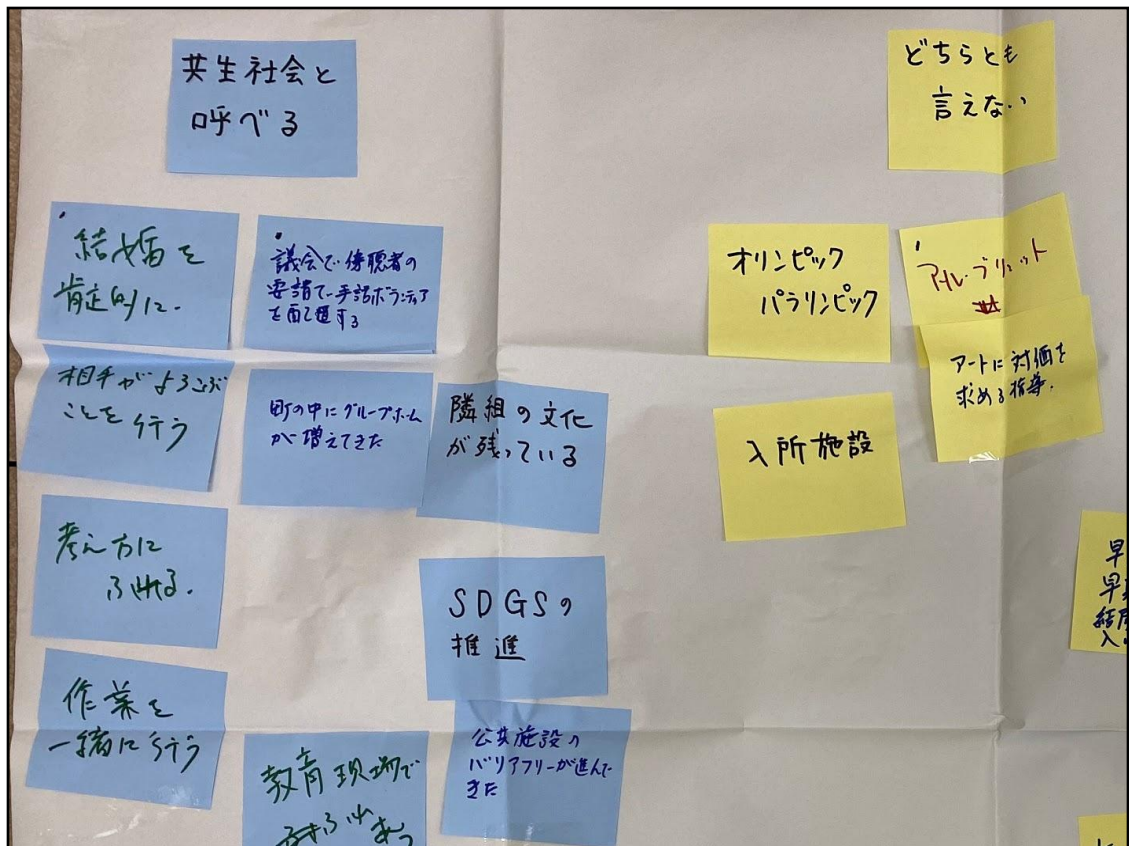
- ◎疑問や違和感をもとに、それぞれにあてはまる状況や自分の考えをふせんに書いて貼りましょう
- ◎「伝えたいこと」は1枚に1つ：キーワード+ひとこと
- ◎マーカーを使って、大きく、簡潔に

障害の有無にかかわらず、
表現活動にとりくめる

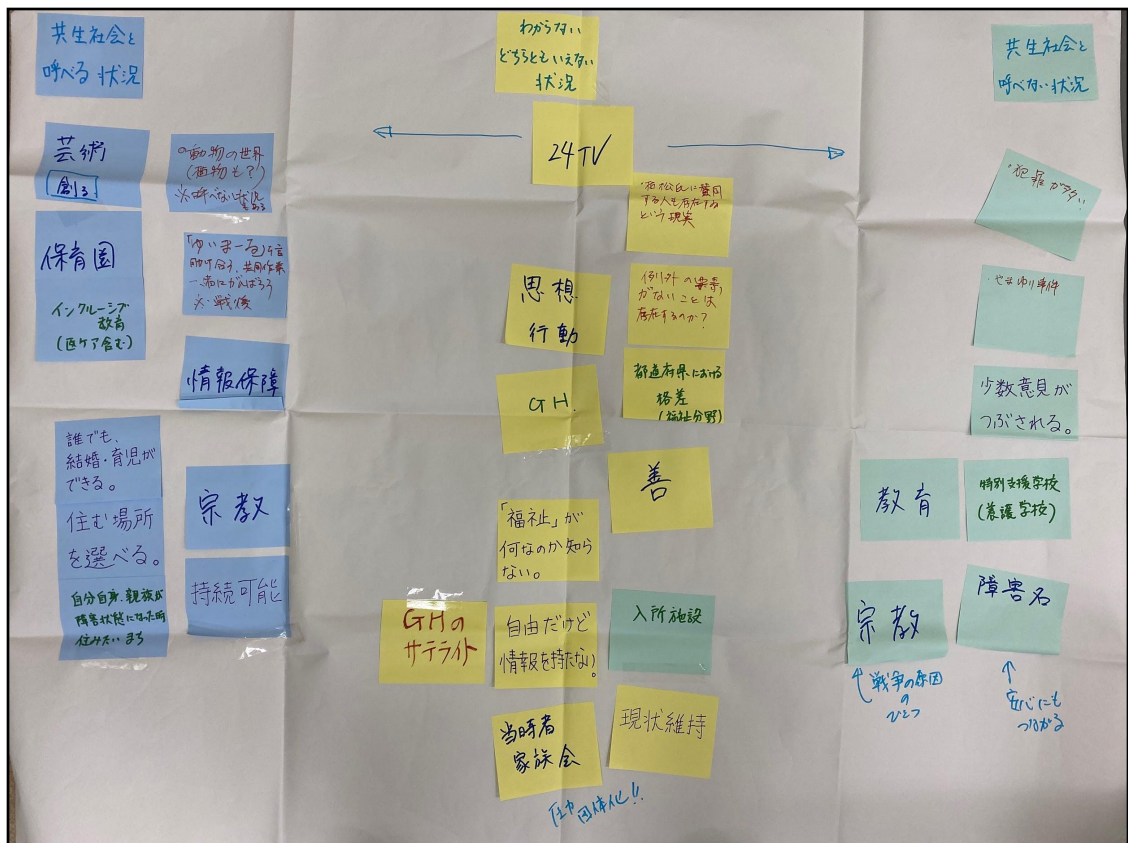
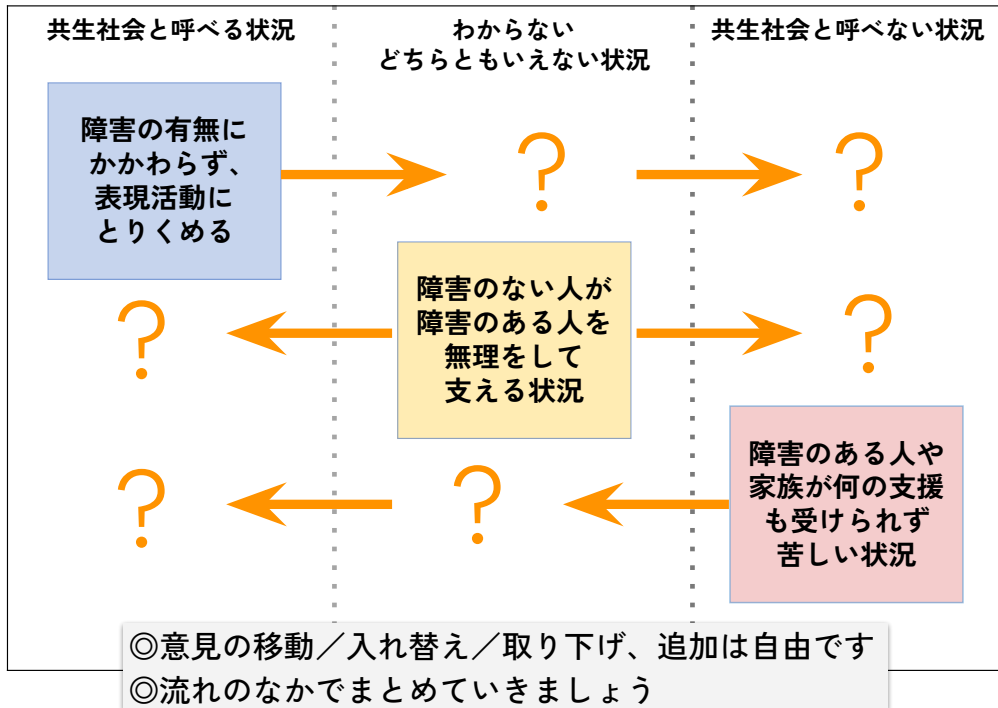
障害のない人が
障害のある人を
無理をして
支える状況

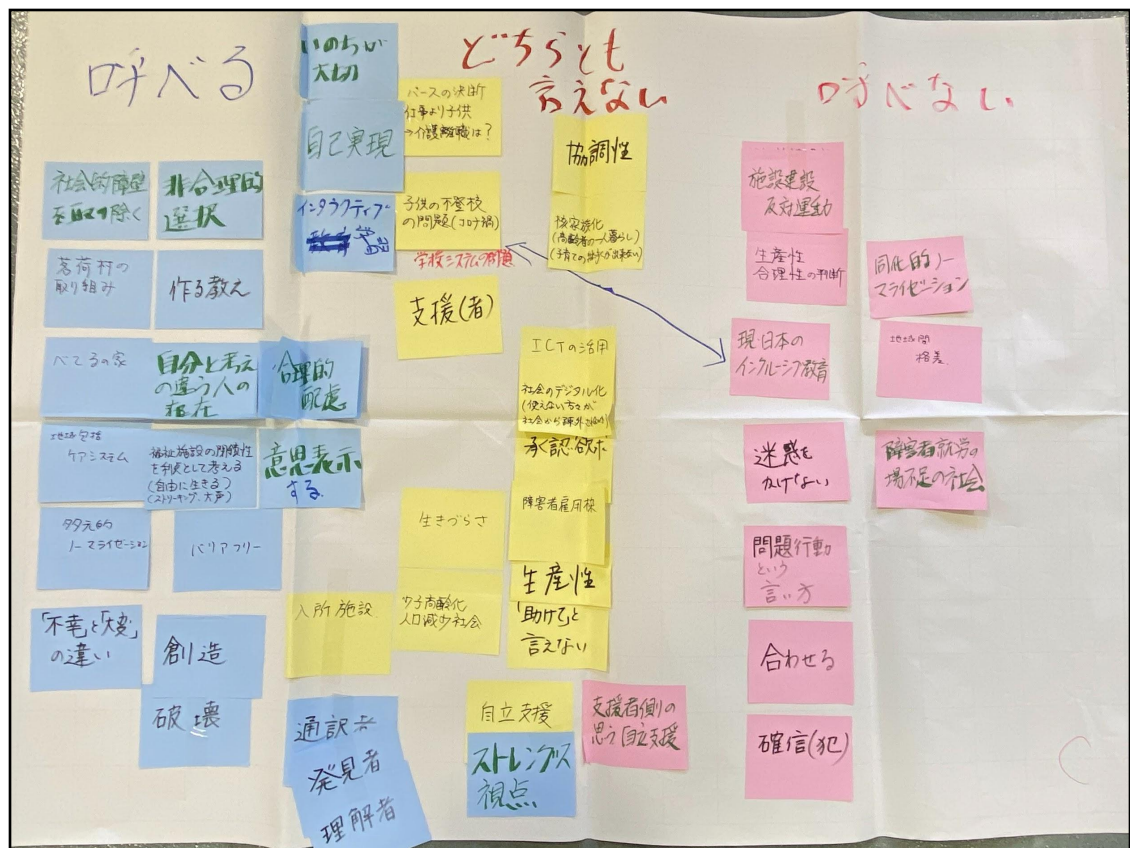
障害のある人や
家族が何の支援も
受けられず
苦しい状況

16



【ディスカッション】





研修中のルール

②正解のない問題に向き合うために

- ◎対等な立場で接しましょう 役職・年齢・関係を気にしない
- ◎建設的に対話を進めていきましょう
- ◎色眼鏡をかけず、物事を広い視野と心で見ましょう
- ◎積極的にディスカッションに参加する

発言の責任を意識しすぎない、突飛な意見でも恥ずかしがらずに。
 思いつき歓迎、ただし、テーマから外れないように注意。
 そして、遠慮なくパスする勇気を。

→今は「わからない」、「どちらともいえない」という選択肢

【ディスカッション】グループ発表用まとめ

シート
No. 6

共生社会と呼べる状況

わからない
どちらともいえない状況

共生社会と呼べない状況

- ◎疑問や違和感をもとに、それぞれにあてはまる状況や自分の考えをふせんに書いて貼りましょう
- ◎「伝えたいこと」は1枚に1つ：キーワード+ひとこと
- ◎マーカーを使って、大きく、簡潔に

障害の有無にかかわらず、表現活動にとりくめる

障害のない人が障害のある人を無理をして支える状況

障害のある人や家族が何の支援も受けられず苦しい状況

16

【ディスカッション】

共生社会と呼べる状況

わからない
どちらともいえない状況

共生社会と呼べない状況

障害の有無にかかわらず、表現活動にとりくめる

?

?

障害のない人が障害のある人を無理をして支える状況

?

?

?

?

障害のある人や家族が何の支援も受けられず苦しい状況

- ◎意見の移動／入れ替え／取り下げ、追加は自由です
- ◎流れのなかでまとめていきましょう

【全体共有】

所要時間
20分

【作業内容】

- ・メンター報告（持ち時間 3 分）：12分
- ・アドバイザーコメント

【セッションA】ふりかえりシート

シート
No. 7

〈各グループの報告・意見交換メモ、報告・意見交換を通じて得られた学び・気づき〉

〈今日のふりかえりと明日にむけて：研修を受ける前との変化、研修で得られた学び・気づき、明日の注意点〉

【メモ】

18

【メモ】

19

福祉支援語り部養成研修

section B

1日目16:55- 2日目14:30

21

【オリエンテーション】

所要時間
5分

【作業内容】
・ セクションBについて

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

§	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	共生社会の根幹にある、福祉の思想と普遍的な価値を理解する	【ワークA】研修プログラム①を考える 【ディスカッション】共生社会について考える 【全体共有】
B 16:55~ 翌14:30	相模原障害者施設殺傷事件に対するさまざまな意見から多様な考え方や“違い”を理解する 「問いかけ」を言語化し、共感のためのいくつかの「語りかけ」を言語化する	【ワークB-0】感情の整理 【オリエンテーション】 【ワークB-1】感情の源泉の整理 【ワークB-2】「問いかけ」による言語化 【グループ共有】 【オリエンテーション】 【ワークB-3】「語りかけ」による言語化 【ディスカッション】「問いかけ」「語りかけ」の検証 【全体共有】
C 14:40 ~16:00	自分の職場をイメージしつつ、語りの場を実践していくためのアクションプランを作成する	【オリエンテーション・事例紹介】 【ワークC-0】語る相手を想定する 【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理 【ワークC-2】アクションプランの作成 【ワークC-3】アクションプランの共有と更新 【まとめ】総括と決意表明テスト

04

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

§	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	◎二元論の思考・発想ではなく どちらともいえないという第三軸 ◎答えはでないという考え方	
B 16:55~ 翌14:30	◎自分の内面（感情・思考）と向き合う ◎“もやもや”との対話 「わからない」「もやもや」の言語化 「問いかけ」と「語りかけ」による対話	
C 14:40 ~16:00	◎実際に、語りの場を考える	

04

【ワーク B-0】

相模原事件当時をふりかえる

所要時間
10分

【作業内容】

- ・ 相模原事件当時をふりかえる：10分

【ワーク B-1】 自分の内面と向き合う

シート
No. 8

相模原障害者施設殺傷事件を聞いた当時、あなたやメンバーはどう感じたのか？

テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）

別紙でA3のワークシートを同封しています

メンバーによる共有をふまえて、自分の感情と源泉の整理を見直し、自分が「気づいていなかったこと」やバイアス（感じ方の癖）を確認しましょう。

【事前準備シート】福祉支援語り部（中堅） シート No. 1

ふりがな	職種	福祉分野での経験年数
おなまえ	所属	
（研修に参加した動機） ☐ 自ら希望して ☐ 推薦 または 指名されて ☐ その他（ ）		
（研修に参加した理由）		
（研修にあたっての不安）		
（相模原障害者施設設備事件のことを聞いて、あなたが、その当時、感じたこと、考えたこと） （相模原障害者施設設備事件のことを聞いて、あなたが、その当時、感じたこと、考えたこと）		

（※第一基関連資料（テキスト「ほほえみから」およびテキスト資料1・2 p.1～60）を読んでの感想）

【ワークB-1】自分の内面と向き合う シート No. 8

相模原障害者施設設備事件を聞いた当時、あなたやメンバーはどう感じたのか？

テキスト資料「相模原障害者施設設備事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）

①相模原事件についてふりかえる 持ち時間：1分

事前準備シートの「あなた自身が、その当時感じたこと、考えたこと」をもとに、メンバーに共有してください。
自分の立ち位置を確認するための共有です。

◎議論ではなく、自分と向き合うための確認作業
現在（今）と違って、変わっていた、としてもOK

◎むしろ、その「気づき」が重要です

【アドバイザーより】

多様な意見と向き合う

所要時間 10分	【作業内容】 ・ 多様な意見に向き合う：10分
---	---

【チェックアウト】

今日のふりかえりと明日への準備

所要時間

5分

【作業内容】

・1日の作業（シート）をふりかえる

【セクションA】 ふりかえりシート

シート
No. 7

〈各グループの報告・意見交換メモ、報告・意見交換を通じて得られた学び・気づき〉

〈今日のふりかえりと明日にむけて：研修を受ける前との変化、研修で得られた学び・気づき、明日の注意点〉

本研修の目的

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、“生きる意味のない命がある”、“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する声もあるなかで、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。**誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念**等について学び、自らの実践につなげ、さらには**所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修**を組み込んだフォーラムを実施します。

01

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

§	到達目標	研修内容
A 14:30 ～16:55	◎二元論の思考・発想ではなく どちらともいえないという第三軸 ◎答えはでないという考え方	
B 16:55～ 翌14:30	◎自分の内面（感情・思考）と向き合う ◎“もやもや”との対話 「わからない」「もやもや」の言語化 「問いかけ」と「語りかけ」による対話	
C 14:40 ～16:00	◎実際に、語りの場を考える	

04

【ワークA】一般プログラムについてふりかえる

シート

No. 5

〈一般プログラムから得た学び・気づき〉

〈疑問・違和感〉

実は、今ひとつ納得できていないことが...
確かにそれが理想だけど、現在現実を考えると...
今さら、こんなことは聞きづらいのだけど...

持ち時間
1分

持ち時間
1分

＊メンバーに各項目を1分で共有する

◎各シートのメモをもとに、「伝えたい」「大事だ」と思う内容をそれぞれの枠に2つ程度に整理していきましょう

(1) 事前学習から得た学び・気づき（共有：10分）

(2) 事前学習での疑問や違和感（共有：10分）

◎他のメンバーの共有から得られた気づきなどをメモしましょう

→メンターは出た意見を整理してください

15

【ディスカッション】

共生社会と呼べる状況

わからない
どちらともいえない状況

共生社会と呼べない状況

障害の有無にかかわらず、
表現活動にとりくめる

?

?

?

障害のない人が
障害のある人を
無理をして
支える状況

?

?

?

障害のある人や
家族が何の支援
も受けられず
苦しい状況

◎意見の移動／入れ替え／取り下げ、追加は自由です

◎流れのなかでまとめていきましょう

【事前準備シート】福祉支援語り部（中堅）

シート
No. 1

ふりがな	職種	福祉業界での 経験年数
おなまえ	所属	
（研修に参加した動機） ☐ 自ら希望して ☐ 推薦 または 指名されて ☐ その他（ ）		
（研修に参加した理由）		（研修にあたっての不安）
（相模原障害者施設設備事件のことを聞いて、あなた自身が、その当時、感じたこと、考えたこと）		（相模原障害者施設設備事件のことを聞いて、あなた自身が、その当時、感じたこと、考えたこと）

（※第一編関連資料（テキスト「ほほえむから」およびテキスト資料1・2 p.1～60）を読んでの感想）

【ワークB-1】自分の内面と向き合う

シート
No. 8

相模原障害者施設設備事件を聞いた当時、あなたやメンバーはどう感じたのか？

テキスト資料「相模原障害者施設設備事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）

①相模原事件についてふりかえる 持ち時間：1分

事前準備シートの「あなた自身が、その当時感じたこと、考えたこと」をもとに、メンバーに共有してください。
自分の立ち位置を確認するための共有です。

◎議論ではなく、自分と向き合うための確認作業
現在（今）と違って、変わっていた、としてもOK

◎むしろ、その「気づき」が重要です

【チェックアウト】

明日にむけた準備

- ・テキストには必ず目を通し、気になる意見をチェックするとともに、事前準備シート（シート1）を完成させておい
- てください

テキスト資料３・４・５の相模原障害者施設殺傷事件に関連する資料（p. 61-91）を読んで、あなたが気になった部分をアンダーラインやふせん等でチェックしてください。またそこからいくつかを取り上げて、内容（ポイント）を整理し、なぜ気になったかも含めて以下にまとめてください。

気になった部分(ページ数・上から〇行目など)	書かれている内容となぜそれが気になったか

【事務連絡】

ワークシートについて

ワークシートは、明日も全て持参してください。

明日、全プログラム終了後に
ワークシートを一旦お預かりします。
(1週間程度での返送を予定)

【事務連絡】

明日は 9:30 スタートです

時間に遅れないように
お集まりください

共生社会フォーラム in 広島
福祉支援語り部養成研修〈2日目〉

アイスブレイク

かたちをことばに、ことばをかたちに

【進め方】

- ・メンターからメンバーにカードを1枚ずつ配る
このとき、他のメンバーに見えないよう注意！
- ・手元に配られたカードに描かれた図形を自分だけ見て
その特徴を他のメンバーに、口頭で説明する
- ・説明を聞いて、イメージされた図形を描く
- ・説明時間は30秒（描く時間もその30秒に含む）
- ・これを4人全員が行う
- ・全員が終わったら、答え合わせ

回答者は
他の人の作業は
見ないように。

出題者は
見てもOK！

【アイスブレイク】かたちをことばに、ことばをかたちに

出題者：

出題者：

出題者：

出題者：

チェックイン

コンディションチェック

- ・ **右手は体**の調子、**左手は心**の調子を表現してください。
手の高さであなたのコンディションを教えてください。
- ・ まっすぐあげた状態が100点、真下に下げた状態が0点

昨日のふりかえり 作業時間：10分

- ・ メンバーの調子をふまえて、グループで発表した模造紙、作成したシートをもとに、昨日をふりかえって、今日にのぞみましょう。

福祉支援語り部養成研修

section B

1日目 16:55- 2日目 14:30

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

§	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	共生社会の根幹にある、福祉の思想と普遍的な価値を理解する	【ワークA】研修プログラム①を考える 【ディスカッション】共生社会について考える 【全体共有】
B 昨 16:55~ 14:30	相模原障害者施設殺傷事件に対するさまざまな意見から多様な考え方や“違い”を理解する 「問いかけ」を言語化し、共感のためのいくつかの「語りかけ」を言語化する	【ワークB-0】感情の整理 【オリエンテーション】 【ワークB-1】感情の源泉の整理 【ワークB-2】「問いかけ」による言語化 【グループ共有】 【オリエンテーション】 【ワークB-3】「語りかけ」による言語化 【ディスカッション】「問いかけ」「語りかけ」の検証 【全体共有】
C 14:40 ~16:00	自分の職場をイメージしつつ、語りの場を実践していくためのアクションプランを作成する	【オリエンテーション・事例紹介】 【ワークC-0】語る相手を想定する 【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理 【ワークC-2】アクションプランの作成 【ワークC-3】アクションプランの共有と更新 【まとめ】総括と決意表明テスト

04

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

§	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	◎二元論の思考・発想ではなく どちらともいえないという第三軸 ◎答えはでないという考え方	
B 昨 16:55~ 14:30	◎自分の内面（感情・思考）と向き合う ◎“もやもや”との対話 「わからない」「もやもや」の言語化 「問いかけ」と「語りかけ」による対話	
C 14:40 ~16:00	◎実際に、語りの場を考える	

04

福祉支援語り部養成研修 セクションB 〈前半〉

時刻	プログラム	内容	シート
16:55	【ワークB-0】35分 多様な意見と向き合う	◎さまざまな意見に対する 自分の感情を整理する	8
17:30	1日目終了		
9:30	チェックイン 10分	・アイスブレイク②	
9:40	【オリエンテーション】15分	・昨日のふりかえり ・セクションBの内容とわらい	
9:55	【ワークB-1】30分 感情と源泉の整理	◎感情の源泉を掘り下げ、 自分の内面と向き合う	8
10:25	【ワークB-2】20分 「語りかけ」の方法①	・「問いかけ」のイメージを共有する ・背景説明 3分 語りかけ 5分 共有10分	9-1
10:45	休憩		
10:55	【ワークB-2】20分 「語りかけ」の方法②	・「問いかけ」のイメージを共有する	9-2
11:15	【ワークB-2】20分 「語りかけ」の方法③	◎答えに窮する問いかけに 「語りかけ」を試みる 共有10分	9-3

22

福祉支援語り部養成研修 セクションB 〈後半〉

時刻	プログラム	内容	シート
11:35	【ワークB-3】35分 「問いかけ」を考える	◎「語りかけ」と「問いかけ」 のイメージ共有	10-1
12:10	昼休憩 50分		
13:00	【ワークB-4】30分 「語りかけ」による言語化	・「問いかけ」に対する「語りかけ」 メンバーの問いかけへの語りかけ 5分×人数 戻ってきた自分のシートへの記入 5分	10-2
13:30	「語りかけ」の確認 15分	◎メンバーの言葉を頼りに 語りを言語化していく	10-2
13:45	【共有】15分		
14:00	【ディスカッション】30分 「問いかけ」「語りかけ」の検証	・言語化された「問いかけ」「語りかけ」の ふりかえり ・ワークBについて自由に意見交換（30分）	10-1 10-2
14:30	休憩 10分		

23

【ワーク B - 1】

感情の源泉の整理

所要時間 30分	【作業内容】 ・ 感じたこと、その感情が湧き起こった源泉を言語化する：10分 ・ 感情と源泉の客観的整理をふまえて、もう一度、感情と源泉と向き合う：10分 ・ 上記をふまえて、個人で見つめ直す：5分
---------------------	--

研修中のルール

②正解のない問題に向き合うために

◎対等な立場で接しましょう 役職・年齢・関係を気にしない

◎建設的に対話を進めていきましょう

◎色眼鏡をかけず、物事を広い視野と心で見ましょう

◎積極的にディスカッションに参加する

発言の責任を意識しすぎない、突飛な意見でも恥ずかしがらずに。

思いつき歓迎、ただし、テーマから外れないように注意。

そして、遠慮なくパスする勇気を。

→今は「わからない」、「どちらともいえない」という選択肢

研修中のルール

③一緒に考えるメンバーに、尊重の念を表す

◎意見を述べている人に体・目線を向ける

◎自分と違う意見も、最後まで聞く

さえぎらない、批判・批評（でも、それってさ～）はNG！
だからといって「肯定」しなくてもよい

⇒「否定をしない」≠「賛同・認める」

◎あいづち、うなづきなどジェスチャーを入れる

「うんうん」「そうそう」などもGood！

「なるほど」「へ～」「いいですね～」など、賞賛の言葉を述べる

とにかく、話しやすい雰囲気をみんなでつくる

12

【ワークB-1】自分の内面と向き合う

シート
No. 8

相模原障害者施設殺傷事件を聞いた当時、あなたやメンバーはどう感じたのか？

テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）

別紙でA3のワークシートを同封しています

メンバーによる共有をふまえて、自分の感情と源泉の整理を見直し、自分が「気づいていなかったこと」やバイアス（感じ方の癖）を確認しましょう。

24

テキスト資料 3・4・5の相模原障害者施設殺傷事件に関連する資料 (p.61-91) を読んで、あなたが気になった部分をアンダーラインやふせん等でチェックしてください。またそこからいくつかを取り上げて、内容（ポイント）を整理し、なぜ気になったのかも含めて以下にまとめてください。

気になった部分（ページ数・上から○行目など）	書かれている内容となぜそれが気になったか

テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）
モ/ (p77)	怒り、悲しみ、混乱	考えにまで及ぶほどの「おかしい」「不公平」
「殺した人はいない！ 権利はない！」 (p78)	怒り、悲しみ	「殺した人」が、また「おかしい」人間として生きるとして、関係ない。
「被害者が分らない。人を殺すのは 殺人」 (p78)		「被害者」が、また「おかしい」人間として生きるとして、関係ない。
「被害者が死んだ日」		「被害者」が、また「おかしい」人間として生きるとして、関係ない。
「被害者はいなくなっている」		「被害者」が、また「おかしい」人間として生きるとして、関係ない。

②感情の源泉を考える 作業時間：10分

どの意見や言葉に対して、どのような感情をもったのか？
湧き上がった感情の源泉を掘り下げていく。

◎事前準備シートと変わっても、変えてもOK

◎すべてを埋める必要はなく、書けるところから

◎感じやイメージが伝われば、キーワードだけでもOK

◎感情は一言でまとめる→源泉と混在を避ける

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）
元職員（施設長等）が事件とむいたことにシビアな意見 p76	悲しみ 怒り 共感 戸惑い	職員として赴いては いかにして 施設長等が たいて思っている。むいては 思っている 自分もいかに
ネットの書き込みや意見に対して 客観者の意見に同調する意見と反対 意見が両方あること p77	怖さ 怒り	この事件に際して、ネットでのやり たいな意見がある。
こんな大事件にこれだけ平気な顔 したい何で平気な顔なのか この国は。 p78	共感 反論	何もしてないか、誤りか、 違つか、変な話、という気が する部分の中心です
今の施設長等も、障害者世帯 が中心に、むしろそれこそ苦しい思い している人ばかりでは。 p79	怒り 悲しみ 共感	苦しいことばかりで、 金もかかる
施設長等に対して 障害者をいかに苦しめるか p80	怒り 悲しみ 共感	施設長等が、 障害者をいかに苦しめるか

泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	怒？ 以外は源泉	感情の源泉（要因）
障害者は いるくるべき	何言ってるの？（怒り）なの？ 重い気持ち 理解できない... 理解したくない	毎日通っている利用者様 達の顔がうざい
貴方達の殆どは 同じです	トキッ クッソ → 違う、違う（とまじい）	自分の子どもは 障害者なわけだからと 思っている
親にせよおまへにせよ	ドロドロ （おまへに）	、おまへ達をきいて やばい、おまへに 「このまへに死のうしろ」の言葉
職員、生活の犠牲のうしろ なっている	確かにと感じた感情が 源泉に→では、その感情は？	宿直などで自分の ほかにせよ、おまへに という気持ちがある
専門性があることも支え てくる	半分納得 半分否定 （たまじい感）	職員のいる、正義はくいて パートの人の顔がうざい

P67. 南月女への異論 知的障害者、辛い、健康者で 救済べき 何の役にも立っていない障害者の親戚 権利ばかり主張し、自分で育てず、 税金を食っている。こどもへの負担 (P66 24H TV. (3) リンピック 「障害者健康者、と本気で言えるか、 それにより傷つく人もいる	この人も辛い思いをしているんだ（悲しみ） どうして人にも こういう意見を持つ人 いるよ （モセモセ） それは、おまへ達の親戚のおまへに... (図星) たしかにそうだ。 多分おまへ達でできている人はどうすれば （疑問 モセモセ	自分のことばかり考えておまへにやTさん？ 世の中のおまへに... (おまへに) してTさんか？ 一面しか見ていないのでは？ おまへ達と建設的におまへに人のおまへに... い、おまへに... 受容とか、おまへに... うやうやしい
---	--	--

（感情）と（源泉）が混在
→ まだまだ他人事 = 浅い → 【原因】 源泉が
分析、詮索に...

おまへに... 本意は... 容疑者の意見は、 本意に間違っているのかもしれない。	驚き、不快 → 受容	おまへに... 自分のおまへに... 容疑者の意見は、 本意に間違っているのかもしれない。
--	-------------------	--

背景の意識に傾く = 「受容」ではない → 興味関心の程度
→ （源泉）どの背景に、なぜ興味関心が出たのか？
→ （感情）それに自分はどうか感じたのか？...これを繰り返す
or 本当に植松死刑囚の考えを「受容」しているのであれば、
→ （源泉）に受け入れた部分、そうでない部分がある...

テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）

③感情と源泉の客観的整理

自分のシートを発表（各自2分）

メンバーによる共有をふまえて、自分の感情と源泉の整理を見直し、自分が「気づいていなかったこと」やバイアス（感じ方の癖）を確認しましょう。

メンバーの感情と源泉を通じた
自分の気づき、キーワードをメモ

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）
-----------	-----------------	-----------

障害者の方、
住みづらいの
障害者の方、
住みづらいの
障害者の方、
住みづらいの

障害者は、
住みづらい
障害者は、
住みづらい
障害者は、
住みづらい

④感情と源泉を見直す 作業時間：5分

他のメンバーの整理や考え方を
聞いたうえで、自分の整理方法を
改めて見直す

- ◎無意識の「思い込み」はないか？
- ◎自分や自分の職場を
例外扱いしていないか？
- ◎自己中心的な考えはないか？

メンバーによる共有をふまえて、自分の感情と源泉の整理を見直し、自分が「気づいていなかったこと」やバイアス（感じ方の癖）を確認しましょう。

障害者への気持ちの変化はあった、
どうも他人事、
という具体的な事にはなっていない。

【ワーク B - 2】

「語りかけ」の方法

所要時間 20分 × 3	【作業内容】 ・「語りかけ」のシーンをイメージし、 実際に取り組んでみる シート 9 -1～ 9 -3記入 各5分
--------------------	--

本研修の目的

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、“生きる意味のない命がある”、“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する声もあるなかで、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。**誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念等**について学び、自らの実践につなげ、さらには**所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修**を組み込んだフォーラムを実施します。

語りかけ練習シート その①

シート
No. 9-1

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問い
かけ

【誰から】後輩の福祉
どうしても反りの合
とは許されないが自分
でしょうか。

【なぜ答えに窮したと思いますか】

問いかけられた状況をイメージして、
まずはなぜ答えに窮したか考えます。
その後、どのように語りかけるか考
えてみましょう。時間は5分です。

【どのように語りかけるか】

<ルール>

- *自分が問いかけられたつもりで主観的に「語りかけ」してみる
- *文章にならない場合は、キーワード+ヒトコトでもOK

25

語りかけ練習シート その①

シート
No. 9-1

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問い
かけ

語りかけのポイント

- ① 相手の意見やつらい状況を
受け止めることができるか
- ② 相手が気づいていない事柄を説明できているか
あたかも事実のように押し付けず、自らの考えとして話す。
- ③ 1人で抱え込まず周りを頼ったり支え合ったり
することへの理解を促すことはできているか
- ④ 「死ぬ」ことは後悔しても取り返しのつかない
ことであると説明できているか
- ⑤ 結論づけず対話につなげる工夫をできているか

【なぜ

【どの

【メモ

25

語りかけ練習シート その①

シート
No. 9-1

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問
い
か
け

【誰から】後輩の福祉施設職員 【どんな状況で】相模原の事件の後で
どうしても反りの合わない子（7才）がいてイライラしてしまう。植松のやったこ
とは許されないが自分もたまに手が出そうになる時もある。私は施設を辞めるべき
でしょうか。

【なぜ答えに窮したと思いますか】

【どのように語りかけるか】

【メモ】

25

【小休憩】

10:55に再開します

語りかけ練習シート その②

シート
No. 9-2

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問
い
か
け

【誰から】 小学校低学年の自分の子ども
【どんな状況で】 自分の働く施設に子どもを連れて行き、重度の障害がある利用者（ベッドで寝ていて話したりすることはできない）とその保護者にすれ違った時にこの子、死んでいるの？

【なぜ答えに窮したと思いますか】

【どのように語りかけるか】

【メモ】

26

語りかけ練習シート その③

シート
No. 9-3

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問
い
か
け

【誰から】 自殺念慮のある思春期女性（1人親貧困家庭育ち、薬物療法効果なし）
PTSD、性虐待、人格障害、ミュンヒハウゼン、解離性障害、躁鬱...
【どんな状況で】 精神状態が落ち着いている時
自分の命だし、自分で死ぬと決めているのに、周りの人から死んだらダメだと言われる。どうして死んだらダメなんですか？

【なぜ答えに窮したと思いますか】

【どのように語りかけるか】

【メモ】

27

「問いかけ」を考え、「語りかける」

所要時間 10分	【作業内容】 ・多様な価値観との対話のきっかけとなる 「問いかけ」を考える シート10-1記入 10分
---------------------------	---

◎各自の「問いかけ」に、メンバー全員で「語りかけ」をする

①自分の問いかけを決める

***問かけの内容と、誰から、
どんな状況で問われたのかを書く。**

②右隣の人にシートを渡す

***自分は左隣の人から受け取って、
「語りかけ」を書く（5分）**

②を繰り返す（5分×人数）

***自分のシートがもどってきたら、メンバー全員の「語りかけ」を見て、思いや考えを整理する（５分）**

[illegible]

【ワークB-3】「問いかけ」を考える

シート
No. 10-1

「相模原障害者施設殺傷事件」を含む「共生社会のありかた」について、
職場の職員、利用者やその家族など、自分の周囲を想定して、
理解できない、自分とは反する価値観を含む、
あるいは、自己矛盾や葛藤により、答えに窮するような「問いかけ」を考えましょう。

誰からの	どんな「問いかけ」

別紙でA3のワークシートを同封しています

なぜ相手は問いかけたのか	なぜあなたは答えに窮したのか

シート10-2の上部に書き入れる際のメモとして活用してください。

【誰からの】	【どんな問いかけ】
【問いかけられた状況やきっかけ、なぜ答えに窮してしまったか】	

あなたのなまえ ()

28

①「問いかけ」を考える 作業時間：10分
 自分の周囲を想定して「問いかけ」を考える
 理解できない、自分とは反する価値観を含む
 自己矛盾や葛藤により、答えに窮する「問いかけ」
→考え方のヒント

シート
No. 9

あるいは、自己矛盾や葛藤により、答えに窮するような「問いかけ」を考えましょう。

誰からの	どんな「問いかけ」なのか？
ボランティアを 呼びかけたい人	只、寝ている人を責めて理解できるの？ 生きるこの意味
顔を知りたがる人の介護者	表情あわがらない人の喜びや悲しみをあなたはわかってるの？ ・障害者
見習いを活用する保 護者	今はいいけど私達から死んだあと残された子ども達は おそれや不安を抱えているの。 私達の悲しみや苦しみをわかってるの？
11の保護者	お金があっても人から助けられはとうしなものない でしょ？ 悩み相談
子どもから	いつもお話を聞いているのはなぜ？(行動障害、多動者)

25

利用者さんから	私は就職できますか？
利用者のお母様	将来、自分が死んだら、この子（利用者）は一人で生活できる社会がありますか。
先輩職員	君は利用者に後から利用させてもらえるか？
部下	いくらで「こーして」か「いじろ」って、いいじゃないですか？ (積極性に乏しい)
自分の親	仕事が出来ないけん、病んでしまって、気がくらくたかしくなってきたよ。施設にの極になるなよ。
同僚から	どうにその仕事をしているの
うつな自分	自分には障害があるけど本当に良かったと思っているよね？

【問いかけを整える】

なぜなぜ検討とシート記入

所要時間 12:10 まで	【作業内容】 ・メンターが「問いかけ」をメンバーそれぞれに1つずつ選びます。 ・選ばれたものについて相手や状況などを補足し、整理していきます。
--	---

シート
No. 9

＊他の人の問いかけも
メモして、参考にしま
しょう。

誰からの	どんな「問いかけ」なのか？	・他の人の問いかけからメモして、参考にしましょう。
利用者さん	子ども産めたい親は価値がないの？	
地域住民	精神障害者は危険（おどろしい）なことをする人だと 感じたりしていませんか？	・偏見はよくあるの？ ・人によって感じ方が違うの？ ・「危険」とは具体的に何を指しているの？
利用者さん	死にたいって思っているとおどろかしく（不安な）気がするの？	

- ・なぜ、自分が窮しているのか？×3回
- ・なぜ、相手が問いかけたのか？×3回

52

【ワークB-4】「語りかけ」の実践		シート No. 10-2
「共生社会のありかた」について、尋ねられると答えに窮してしまう「問いかけ」に対して、グループのみんなで「語りかけ」を考えていきます。		
【誰からの】	【問いかけられた状況やきっかけ、なぜ答えに窮してしまったか】	
【どんな問いかけ】		
あなたのなまえ（ ）		
【メンバーからの反応・語りかけ】		なまえ
【自らの問いかけ、メンバーからの反応・語りかけに対する思いや意見の整理】		

29

【ワークB-3】「問いかけ」を考える		シート No. 10-1
「相模原障害者施設殺傷事件」を含む「共生社会のありかた」について、職場の職員、利用者やその家族など、自分の周囲を想定して、理解できない、自分とは反する価値観を含む、あるいは、自己矛盾や葛藤により、答えに窮するような「問いかけ」を考えましょう。		
誰からの	どんな「問いかけ」	
別紙でA3のワークシートを同封しています		
シート10-2の上部に書き入れる際のメモとして活用してください。		
【誰からの】	【どんな問いかけ】	
【問いかけられた状況やきっかけ、なぜ答えに窮してしまったか】		
あなたのなまえ（ ）		

28

【ワークB-3】「語りかけ」をみんなで考える

シート
No. 10

「共生社会のありかた」について、尋ねられると答えに窮してしまう「問いかけ」に対して、グループのみんなで「語りかけ」を考えていきます。

【誰からの】 施設職員 20代	【問いかけられた状況や、きっかけなど】 相模原事件の後
【どんな問いかけ】 どうしても折の合わない子がいてイライラしてしまう。植松のやったことは許されないが、自分もたまに殺したくなる時もある。私は施設を辞めるべきでしょうか。 あなたのなまえ ()	

【メンバーからの反応・語りかけ】	なまえ

【昼休憩】

13:00に再開します

- ・ 本日の全プログラム終了後にワークシートを一旦お預かりします。（1週間程度での返送を予定）

「語りかけ」の言語化

【作業内容】

- ・説明：5分
- ・メンバーによる「語りかけ」：20分
- ・「語りかけ」に対する考えの整理：5分

55

【メンバーからの反応・語りかけ】		なまえ
分からない人達ではありません。たの思いを伝え合うことが難しい人達ではあり、それは私たちの職員が倦れた工夫をして伝え合えるようにしています。言葉が通じなくて、自分を守るために、他の人に手を出してはウケないとか、そう伝わるために私たちが支援している中で安心して下さい。		〇〇
① 右端に自分の名前を記入 ② ×相手の考え方や価値観を否定 ×相手を変える説得 ↓ ○どのような考え方をすれば相手を理解できるのか ○自分の常識や考え方を疑ってみたほうがよいこと *自分が問いかけられたつもりで主観的に「語りかけ」してみる *文章にならない場合は、キーワード+ヒトコトでもOK ③ 5分経ったら（合図あり）、右隣の人に渡しましょう。		

【誰からの】	【問いかけられた状況や、きっかけなど】
同席	お話ししたいことがある。 お話ししたいところから仕事を聞かされて、障害者雇用で働くことになった。
【どんな問いかけ】	どうしてその仕事をしたいの。 (大変な前提) (いいことあるよね) (優しい前提) あなたのなまえ ()
戻ってきたシートをみて 自分の思いや考えを 整理しましょう。 持ち時間は5分です。 ↓	
【自らの問いかけ、メンバーからの反応・語りかけに対する思いや意見の整理】	
自分の自信の不足に気がおされた。 好きだから。人々からつづいてる究極の仕事を。成長できる。里合合々々々々々。学び。 自分の強みにもあるが。人に言えない自分	

「問いかけ」「語りかけ」の確認

13:45
まで

どういう仕事に就きたいですか？ 私たちの事業所においでいただいていること自体が「仕事」
 していることと同じと、私は思っています。もし現状に対して何かあれば、どんな細がいにこと
 でもいいので、お話ししてくださいね。

とてき	はけ
きさか	る
思	きじ

一 緒に考えてくれるんだ！
と、嬉しくなる答えです。

【自らの問いかけ、メンバーからの反応・語りかけに対する思いや意見の整理】

学: 意味して「王」を「見」る!

【共有】

他グループの「問いかけ」「語りかけ」

所要時間 14:00 まで	【作業内容】 ・ポスターセッション形式（他のグループのシート10を見てまわる）で閲覧しながらシート11の下半分を記入：15分
---------------------	---

【セクションB】 メモ&ふりかえりシート

シート
No. 11

〈ディスカッションを通じて得られた学び・気づき、問いかけ・語りかけで大事なこと〉

他グループの「問いかけ」と「語りかけ」から得られた学びと気づき

いいね！と感じた「問いかけ」

いいね！と感じた「語りかけ」

30

【セクションB】メモ&ふりかえりシート

シート
No. 11

〈ディスカッションを通じて得られた学び・気づき、問いかけ・語りかけで大事なこと〉

他グループの「問いかけ」と「語りかけ」から得られた学びと気づき

いいね！と感じた「問いかけ」

いいね！と感じた「語りかけ」

30

【ディスカッション】

「問いかけ」「語りかけ」の検証

14:30
まで

【作業内容】

- ・言語化された内容の共有（シート10回覧）
- よいコメントにマーク＋言い足りなかったポイントを加筆

【セクションB】 メモ&ふりかえりシート

シート
No. 11

〈ディスカッションを通じて得られた学び・気づき、問いかけ・語りかけで大事なこと〉

他グループの「問いかけ」と「語りかけ」から得られた学びと気づき

いいね！と感じた「問いかけ」

いいね！と感じた「語りかけ」

30

【小休憩】

14:40に再開します

【メモ】

31

【メモ】

32

福祉支援語り部養成研修

section C

14:40-16:00

33

【オリエンテーション】

作業の内容確認

所要時間
10分

【作業内容】

- ・ セクションCの作業の流れについて説明
- ・ 事例紹介

本研修の目的

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、“生きる意味のない命がある”、“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する声もあるなかで、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。**誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念**等について学び、自らの実践につなげ、さらには**所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修**を組み込んだフォーラムを実施します。

01

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

§	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	共生社会の根幹にある、福祉の思想と普遍的な価値を理解する	【ワークA】研修プログラム①を考える 【ディスカッション】共生社会について考える 【全体共有】
B 昨 16:55~ 14:30	相模原障害者施設殺傷事件に対するさまざまな意見から多様な考え方と“違い”を理解する 「問いかけ」を言語化し、共感のためのいくつかの「語りかけ」を言語化する	【ワークB-0】感情の整理 【オリエンテーション】 【ワークB-1】感情の源泉の整理 【ワークB-2】「問いかけ」による言語化 【グループ共有】 【オリエンテーション】 【ワークB-3】「語りかけ」による言語化 【ディスカッション】「問いかけ」「語りかけ」の検証 【全体共有】
C 14:40 ~16:00	自分の職場をイメージしつつ、語りの場を実践していくためのアクションプランを作成する	【オリエンテーション・事例紹介】 【ワークC-0】語る相手を想定する 【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理 【ワークC-2】アクションプランの作成 【ワークC-3】アクションプランの共有と更新 【まとめ】総括と決意表明テスト

04

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

S	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	◎二元論の思考・発想ではなく どちらともいえないという第三軸 ◎答えはでないという考え方	
B 昨 16:55~ 14:30	◎自分の内面（感情・思考）と向き合う ◎“もやもや”との対話 「わからない」「もやもや」の言語化 「問いかけ」と「語りかけ」による対話	
C 14:40 ~16:00	◎実際に、語りの場を考える	

04

福祉支援語り部養成研修 セクションC

時刻	プログラム	内容	シート
14:40	【オリエンテーション】 10分	・作業内容の確認 ・アクションプランの事例紹介	
14:50	【ワークC-0】 5分 語る相手を想定する	・語る相手を具体的にイメージする	13-1
14:55	【ワークC-1】 20分 語りの場のコンセプト整理	・コンセプト整理 20分	12
15:15	【ワークC-2】 20分 アクションプランの作成	・アクションプラン作成 15分	13-1 13-2
15:35	【まとめ】 20分 総括と決意表明	・各グループでまとめと各自の決意表明	14
15:55	閉会あいさつ・事務連絡		
16:00	全プログラム終了		

34

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート
No. 13-1

〈対象者：語りを伝えたい相手〉	〈対象の特徴〉 ex.興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc...
〈対象者の現在の状態（課題）〉	〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉
〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉	〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉

37

【ワークC-2】アクションプラン：シチュエーション

シート
No. 13-2

〈語りのシチュエーションの呼び名〉	〈実施する頻度・期間・人数・場所〉
〈具体的な方法（プログラム・内容）〉 可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう！	〈語りの際に留意すべきポイント〉 上の〈対象の特徴〉もふまえて

38

【事例紹介】

アクションプランの紹介

所要時間 5分	これまで研修で実際に作成されたアクションプランを紹介
-----------------------	--

地域向けプラン

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート
No. 13

〈対象者：語りを伝えたい相手〉 - 学校現場… (保育) 教職員や児童生徒 (幼稚園) ② 施設職員…??	〈対象の特徴〉 ex. 興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc… 学校などの考え、法則がある。 (保育所)
〈対象者の現在の状態（課題）〉 - 支援のほぎまにいてる子どもたちを排除する方向にある。(全ては正し) - 保護者と子どもの間で板ばさみにやり、苦しんでいる。	〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉 - 子どもの声に耳を傾ける。 - 努力せずに子どもを排除しない。 - 暴発するまで抱え込まない。
〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉 - 同僚（指導員や心理司、保育士etc…） - 上司	〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉 - 市町村のSSW（スクールソーシャルワーカー） - 学校、保育所の教員（SC etc…）

【ワークC-2】アクションプラン：シチュエーション

シート
No. 14

〈語りのシチュエーションの呼び名〉 「みんなの共生社会」	〈実施する頻度・期間・人数・場所〉 ・年に1度又は半年に1度。 ・夏休み中又は春休み中。 ・20名程度を対象に。 ・中学校区で。(中学校の地域連携室を用いる)
〈具体的な方法(プログラム・内容)〉 可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう! ・年に1度であれば 3~4時間 例) 土曜日の午後 13:00~17:00 まで「福祉思想」上映 ・13:00~14:00 「福祉思想」「理念」「共生社会」 ・14:15~16:00 ワークショップ ・16:15~17:00 全体で共有、フリートーク ・半年に1度であれば 放課後 1~2時間 例) 金曜日の放課後 16:30~18:00 まで「福祉思想」上映 ・16:30~17:00 ①「共生社会」②「福祉思想」 ・17:10~18:00 ③ワークショップ・全体共有 ② 半日後の状況確認?	〈語りの際に留意すべきポイント〉 上の〈対象の特徴〉もふまえて ・対立や批判が起らないように。 ・お互いの現場のシステムを理解し合う。 ・続ける。

35

施設内向けプラン

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート
No. 13

〈対象者：語りを伝えたい相手〉 日中系の職員・パートさん 当事者と関わる対話。	〈対象の特徴〉 ex. 興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc... ・大人数のなかで自分の意見を言えない。 ・人に同言同語しがち。→わかりやすさ。 ・会議が終わってから少人数で片端会議を始める。
〈対象者の現在の状態(課題)〉 ・安心して意見を言える場がない。	〈対象者の目指すべき方向(語りに期待する効果)〉 ・自分の感情や行動を見つめ直す。気持ちを出し出す。 ・感情の要因をさぐってみる。 ・自分とはちがう意見をさぐ。 ・視野を広げ施設の外へ目を向ける。
〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉 ・拠点長 ・同僚	〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉 ・哲学対話をやっている人(Yさん)

34

【ワークC-2】アクションプラン：シチュエーション

(アクションをおこなうためのプラン)

シート

No. 14

〈語りのシチュエーションの呼び名〉 モヤモヤ 飼育係 モヤモヤカフェ 喫茶会 茶話会 ヤロニ カフェ お茶会	〈実施する頻度・期間・人数・場所〉 2ヶ月に1回 2時間 施設内 1つ 1年を通じたプログラム
〈具体的な方法（プログラム・内容）〉 可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう！ アイスブレイク 話題提供 対話 1人ひとりに感想をさく 言いたらなかったことを紙に書いて提出 当事者あつろく 料理 楽しんでもらう	〈語りの際に留意すべきポイント〉 上の〈対象の特徴〉もふまえて 聴いているだけでもOK モヤモヤを持っている人が発言できる → 発言したい人にまわす 会の終わりに感想を書いてもらう 「かわらない」これも言っておく

35

同業者向けプラン

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート

No. 13

〈対象者：語りを伝えたい相手〉 作業療法士会、職場	〈対象の特徴〉 ex. 興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc... 共生社会という言葉は知っているが... 新しい情報や取り組みに対して二の足を踏む
〈対象者の現在の状態（課題）〉 他者の意見を受け入れない 自分の考えを押し付け、相手の考えは難し 心にエビデンスを求めよ	〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉 他者の意見に耳を傾け、共感できるようにする
〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉 存在者：一緒に共生社会を学んでいる仲間	〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉 共生社会フォーラムに参加した他組織の人

34

〈語りの対象〉

呼び名と方法○

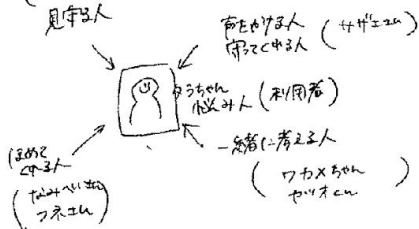
かたし(2)

〈具体的な方法（内容）〉

可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう！

(227±4)

見字人



色々と被害が「あちこち」で利用者は対して少ない
ことを各々為して声かけする。

〈語りの際に留意すべきポイント〉

上の〈聞き手の特徴〉もふまえて

- 役割りを決めて年代で意見を出した
声かけの練習をする中で「自分の役割り
(声のかけ方)について考えを時間がある。
- 普段と違った視点、(キャラクター)で中身を
考えようとする。

シート
No. 13

〈対象者：語りを伝えたい相手〉

+ 地碱、小中高、二通学、17113

発達障害児の保護者(主母親)

~~年齡~~ 學校 科學 生產

〈対象の特徴〉

ex. 興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc...

、特別支援学校に在籍しているが、~~母~~母と父が

学が為めは「子子」の保つて ~~→~~

凍背手帳と手帳の比較

多く対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）

〈対象者の現在の状態（課題）〉。 存在の不安が、人々を苦しめて 〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉

- ・ ~~出~~ 発達障害児のことはついで 周囲に ^{背後で} (了解し) かくしている。
- ・ 保護者の周囲に相談できた人が少ない。
- ・ 自分や子ども、本人の障害についてどう説明しているのか。子どもはどのくらいかかっているか。
- ・ 保護者自身の子どもの障害受容ができていない。

- 子達のよいと云ふと見つけか(規正)て
○「陸号」とい言葉への自分の感情をこ
ゑに表す。
○「自分だけが知っている」と安心させる。
○~~お母さん~~お父さんやうな姿勢でその歌を
いってあげる

〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉

支援員全員

① 参加している時内に子どもを見て42分 ~~分~~ 又は!

李俊先生

井田梁子陵馬河

・ 腹 子 生 の 担 当 医

〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉

家族

突 又同

उत्तर

1725

【ワークC-2】アクションプラン：シチュエーション

〈語りのシチュエーションの呼び名〉 えんす親の会 えんす親 えんすサロン 「～編」とテーマをつける。	〈実施する頻度・期間・人数・場所〉 1.2回 毎月1回 1.0h 1回 1.5h. 5人 同じ年代の子とてつづきのグループ作り ＊プレイ内
〈具体的な方法（プログラム・内容）〉 可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう！ 午前中 子どもが学校に行く時や帰る時や午前中がよい。 10:00 集合 10:10 自由アスレチック（身体部分） 10:15～10:45 今日のテーマ、目的をスタッフで説明 10:45～10:55	〈語りの際に留意すべきポイント〉 上の〈対象の特徴〉もふまえて ・事前に保護者から当日に読む本や質問などを聞いてみる。 ・性善説の明るい人、ネガティブ傾向の人を混ぜてグループにする ・ファシリテーターの準備 ・エクササイズは10分程度

【ワーク C-0】

語る相手を想定する

所要時間 5分	【作業内容】 ・ 語る相手を具体的にイメージする：5分
--------------------------	---------------------------------------

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート
No. 13-1

〈対象者：語りを伝えたい相手〉	〈対象の特徴〉 ex.興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc...
〈対象者の現在の状態（課題）〉	〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉
〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉	〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉

37

【ワークC-1】

語りの場のコンセプト整理

所要時間 15分	【作業内容】 ・ 語り（対話）の場を設計するために、シート12を使ったコンセプト整理：15分
---------------------	---

【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理

シート
No. 12

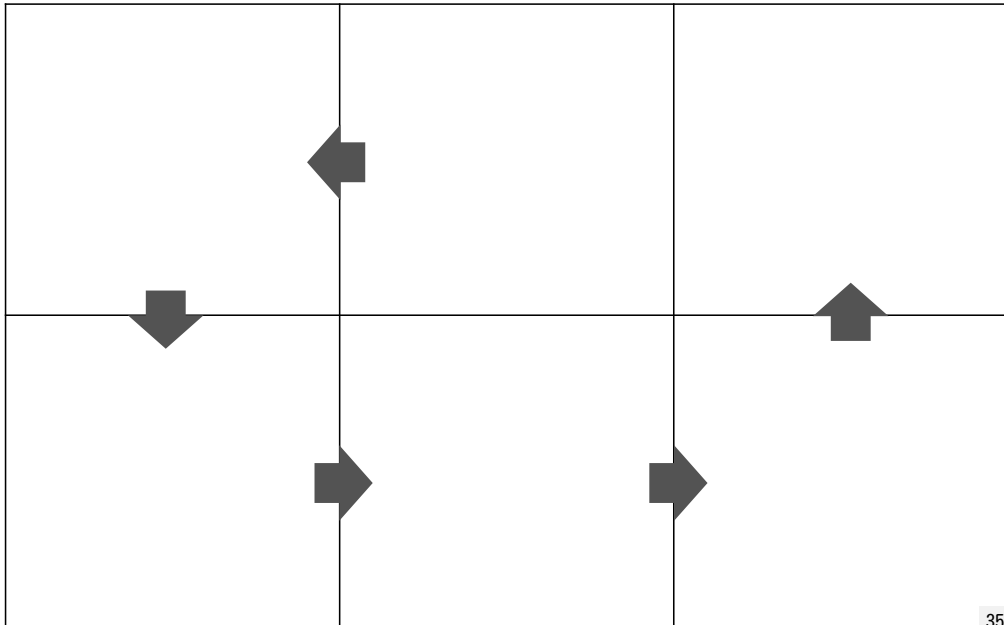
相模原事件のとき

普 段

これから

良い点

悪い点



35

【ワークC-1】コンセプトの整理

これまでのディスカッション
(共生社会、感情の源泉、問いかけ、語りかけなど)
の場を、各自の職場で実現するためには？

◎コミュニケーションの機会や語りの場

内 部：意見交換、会議、勉強会...

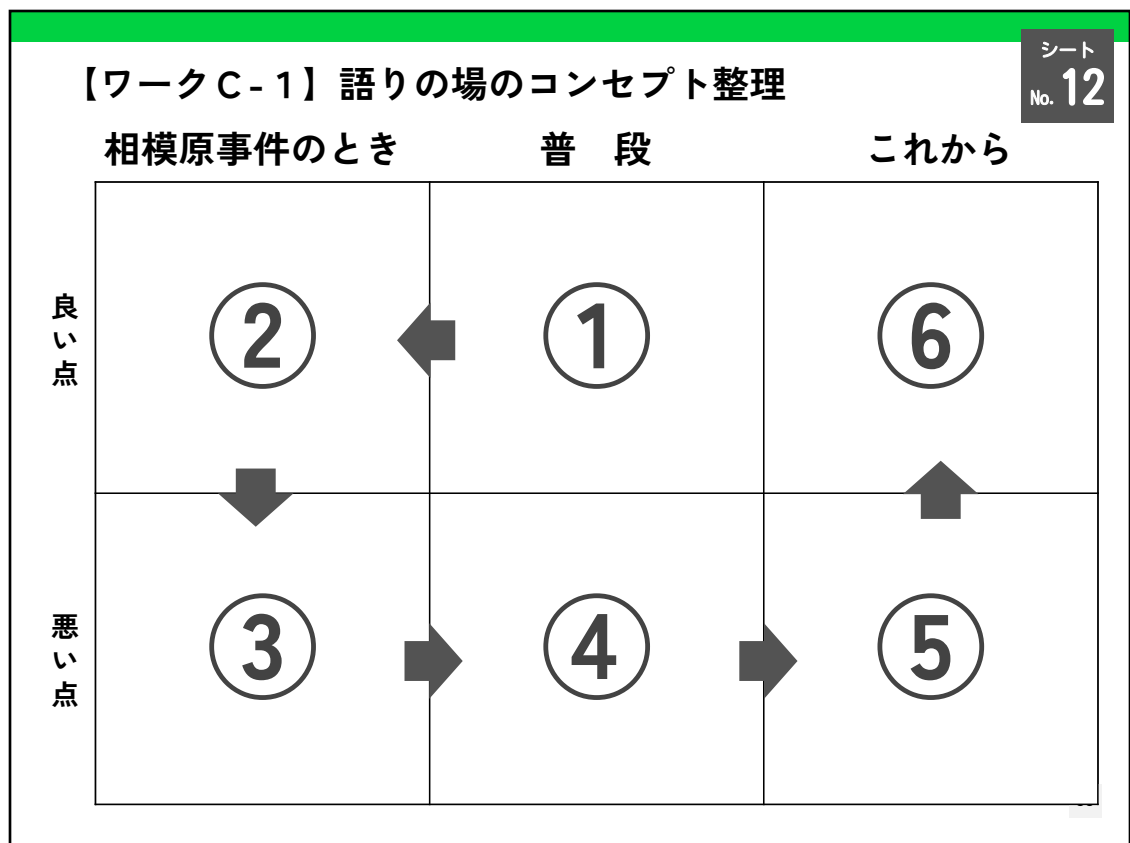
対外的：交流会、発表会、フォーラム、委員会...

<前向きに考えるために>

- ・ 現在を起点に、相模原事件から将来を考える
- ・ 良いところも、悪いところもふまえる

→ 箇条書きで整理

【事前準備シート】福祉支援語り部（中堅）			シート No. 1
ふりがな	職種	福祉業界での 経年数	
おなまえ	所属		
〈研修に参加した動機〉 ☐ 自ら希望して ☐ 推薦 または 指名されて ☐ その他（ ）			
〈研修に参加した理由〉		〈研修にあたっての不安〉	
〈相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、 あなた自身が、その当時、感じたこと、考えたこと〉		〈相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、 あなたの職場や周囲で、おこった反応や感じた雰囲気〉	
〈※資料一冊関連資料（テキスト「ほほえみから」およびテキスト資料1・2 p.1～60）を読んだ感想〉			
テキスト資料3・4・5の相模原障害者施設殺傷事件に関連する資料（p.61-91）を読んで、あなたが気になった部分を アンダーラインやふせん等でチェックしてください。またそこからいくつかを取り上げて、内容（ポイント）を整理し、 なぜ気になったかも含めて以下にまとめてください。			
気になった部分（ページ数・上から○行目など）		書かれている内容となぜそれが気になったか	



【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理

シート
No. 12

相模原事件のとき

普 段

これから

良い点

②

あの当時を振り返って感じた、自分の現場のコミュニケーションで、
・よかった点
・安心した点
・希望を感じたところ

①

現在、対内外関わらず情報共有の機会意見交換の場などで、うまくいっているいい感じ、悪くないと考えているところ

⑥

将来、このままの感じで続けたい
こういうイメージを実現したい

③

悪い点

あの当時を振り返って感じた、自分の現場のコミュニケーションで、
・危うさや危機感
・怖さ
・ズレや違和感

④

現在、対内外関わらず情報共有の機会意見交換の場などで、うまくいっていない、なんとかならないか、と考えているところ

⑤

このまま続けるといやだなあ...
変えたい
こうなっては困る

36

【ワークD-0】語りの場のコンセプト整理

シート
No. 12

相模原事件のとき

普 段

これから

前向きな考え

日頃より、倫理研修や、行動規範のチェックを実施していたので、
「私たちのやり方は違うよね」と話し合えた。
利用者様の不安に寄り添えた。(多少の安心)

STAFF1人に対し4名以上の利用者支援もしており、1名毎利故に行き詰まりは多くあるが、先輩や上司に気軽に(?)相談できている。関係性は悪くはない...はず。

業務内は上手に伝え合うのはもちろんのこと、ストレスなく時間外での「オフなコミュニケーション」ができ「関係」が築けたらよい。友だちとかではなく必要な時に支え合える人間関係にしたい。

否定的な考え

外から来る恐怖(侵入者)が出てきたこと(夜勤時)
防ぎアイテム(武器)も設置にーなんて話も。
現場の雰囲気はわからない...

変則業務の中でのやり違いがあり、意見を合せてのコミュニケーションが100%はできておらず...
メール等の情報共有での伝え方不足の課題
それにおいて、保護者様からのクレームへの発展もあったり。

業務内でのコミュニケーション(できる)時間が少ないのか長時間職場にいないと困る。
顔を見てのコミュニケーションがなくなると入

【ワークD-0】 語りの場のコンセプト整理

相模原事件のとき

普 段

これから

前向きな考え

否定的な考え

事件の次の日、取置から「家族も不安なもんね」という言葉があり、(道田昭のやりとり)、直接お会いした時のやりとりで気づくには2週間ほどは上司に報告がなかった。その後、
・声明文もまた取置から、おびへ、取置は、しつかいしてくれた。
・NHK TV

- ・通所なので、昨日の様子、今日の様子も取買面む共有することができています。
- ・各部署で取買も固定しているの、情報共有しやすい。
- ・割と話し合い、取買が多い。
- ・上司にも割と相談してやる。
- ・会場の近辺にアネ(7分)

- 日頃から話し合いの、需困度と
教会もわかれ、テーマを決めて
話し合う会を設ける。
- 取組から相談のあった時とか語り
あひまひの時に、真心に二、三
事(事件等)にも触れたい
- このような関係をもつ

近頃の同僚
 ・管理系同士の
 はしだが...

○事件について話題にはなつたが、
 掘り下げての話はできなかった。

・あつてもう主中は...で
 1つの内にか話題にも ~~な~~
 ならなかった。

○語り機会をもちたいたが、おかし
 作にかきできなかった。

○空想への力。

・2つの70アセキ掌張をしているが、
70アセキ毎で情報もわかちあう。
・取資からの相談も多く、要は
それに沿って院内が動く。

●掌張の内容が中心で
あり、それ以外に総合的な
もの。未知の中に特殊

○このまま、新橋の事件について、
話し合ひたいと風化してしまふ、
○このような窮乏しい教会が必
要だと思つてゐるのか自分
（いふ）。

【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理

相模原事件のとき

普 段

これから

良い点

悪い点

②

あの当時を振り返って
感じた、自分の現場の
コミュニケーションで、

- ・よかった点
- ・安心した点
- ・希望を感じたところ

①

現在、対内外関わらず
情報共有の機会
意見交換の場などで、
うまくいっている
いい感じ、悪くない
と考えているところ

⑥

将来、
このままの感じで
続けたい
こういうイメージを
実現したい

3

あの当時を振り返って
感じた、自分の現場の
コミュニケーションで、

- ・危うさや危機感
- ・怖さ
- ・ズレや違和感

④

現在、対内外関わらず
情報共有の機会
意見交換の場などで、
うまくいっていない、
なんとかならないか、
と考えているところ

⑤

このまま続くと
いやだなあ...
変えたい
こうなっては困る

【ワークC-2】

アクションプランの作成

15:35
まで

【作業内容】

- ・ これまでをふまえて、シート13を使って、具体的な語り（対話）の場を設計する

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート
No. 13-1

〈対象者：語りを伝えたい相手〉

〈対象の特徴〉

ex. 興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc...

〈対象者の現在の状態（課題）〉

〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉

シート12を参考にしながら、
職場の課題解決や業務改善ではなく、
共生社会のことを考える時間を
どこで、誰と持つのか？を考えましょう

〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉

〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉

相模原事件や共生社会を語る、という目的をふまえて、
注意するポイントなどを考えましょう

【ワークC-2】アクションプラン：シチュエーション

シート
No. 13-2

〈語りのシチュエーションの呼び名〉 ネーミングにも こだわってみましょう	〈実施する頻度・期間・人数・場所〉
〈具体的な方法（プログラム・内容）〉 可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう！	〈語りの際に留意すべきポイント〉 上の〈対象の特徴〉もふまえて ワークシート、新聞記事 を使うなどの工夫も！

38

【ワークC-2】プランの作成

作成にあたっての注意事項

- ◎シート8・10の「問いかけ」や「語りかけ」なども参考に
- ◎シート12の⑥が具体化できるように、
各自の現場の内外をイメージしてプランを作成
→語りの場が職場と異なる場合は、少し整理が必要
- ◎メンターから、積極的にアドバイスを受ける
具体的なイメージが湧きにくい場合は、個別相談も可
- ◎適宜、休憩をとりながら

15:35をメドに
できる範囲で作業

【まとめ】

総括と決意表明

所要時間
15分

【作業内容】

- ・ 研修のふりかえり（5分）
- ・ アクションプランをふまえて決意表明！（5分）

【セクションC】 メモ&ふりかえりシート

シート
No. 14

〈研修の総括・決意表明〉

本研修の目的

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、“生きる意味のない命がある”、“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する声もあるなかで、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。**誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念**等について学び、自らの実践につなげ、さらには**所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修**を組み込んだフォーラムを実施します。

01

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

§	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	共生社会の根幹にある、福祉の思想と普遍的な価値を理解する	【ワークA】研修プログラム①を考える 【ディスカッション】共生社会について考える 【全体共有】
B 昨 16:55~ 14:30	相模原障害者施設殺傷事件に対するさまざまな意見から多様な考え方と“違い”を理解する 「問いかけ」を言語化し、共感のためのいくつかの「語りかけ」を言語化する	【ワークB-0】感情の整理 【オリエンテーション】 【ワークB-1】感情の源泉の整理 【ワークB-2】「問いかけ」による言語化 【グループ共有】 【オリエンテーション】 【ワークB-3】「語りかけ」による言語化 【ディスカッション】「問いかけ」「語りかけ」の検証 【全体共有】
C 14:40 ~16:00	自分の職場をイメージしつつ、語りの場を実践していくためのアクションプランを作成する	【オリエンテーション・事例紹介】 【ワークC-0】語る相手を想定する 【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理 【ワークC-2】アクションプランの作成 【ワークC-3】アクションプランの共有と更新 【まとめ】総括と決意表明テスト

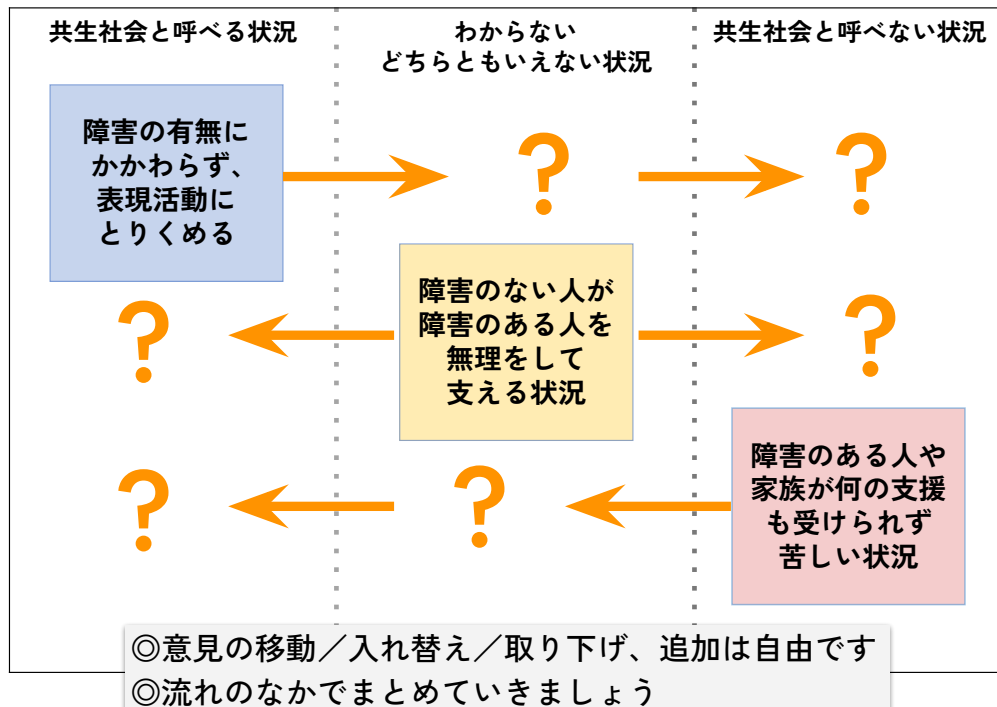
04

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

S	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	◎二元論の思考・発想ではなく どちらともいえないという第三軸 ◎答えはでないという考え方	
B 昨 16:55~ 14:30	◎自分の内面（感情・思考）と向き合う ◎“もやもや”との対話 「わからない」「もやもや」の言語化 「問いかけ」と「語りかけ」による対話	
C 14:40 ~16:00	◎実際に、語りの場を考える	

04

【ディスカッション】



【事前準備シート】福祉支援語り部（中堅）

シート
No. 1

ふりがな	職種	福祉関係での 経験年数
おなまえ	所属	

（研修に参加した動機）
☐ 自ら希望して ☐ 推薦 または 指名されて ☐ その他（ ）

（研修に参加した理由）

（研修にあたっての不安）

（相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、あなたが、その当時、感じたこと、考えたこと）

➡

（相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、あなたが、その当時、感じたこと、考えたこと）

（※第一編関連資料（テキスト「ほほえみから」およびテキスト資料1・2 p.1～60）を読んでの感想）

【ワークB-1】自分の内面と向き合う

シート
No. 8

相模原障害者施設殺傷事件を聞いた当時、あなたやメンバーはどう感じたのか？

テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）

①相模原事件についてふりかえる 持ち時間：1分

事前準備シートの「あなた自身が、その当時感じたこと、考えたこと」をもとに、メンバーに共有してください。
 自分の立ち位置を確認するための共有です。

◎議論ではなく、自分と向き合うための確認作業
 現在（今）と違って、変わっていた、としてもOK

◎むしろ、その「気づき」が重要です

テキスト資料3・4・5の相模原障害者施設殺傷事件に関連する資料（p.61-91）を読んで、あなたが気になった部分をアンダーラインやふせん等でチェックしてください。またそこからいくつかを取り上げて、内容（ポイント）を整理し、なぜ気になったのかも含めて以下にまとめてください。

気になった部分（ページ数・上から○行目など）	書かれている内容となぜそれが気になったか

テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）
モ/ (p.7)	怒り、悲しみ、涙	考えが通らない、どうも納得できない
（p.8）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.9）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.10）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.11）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.12）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.13）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.14）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.15）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.16）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.17）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.18）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.19）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.20）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.21）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.22）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.23）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.24）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.25）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.26）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.27）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.28）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.29）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.30）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.31）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.32）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.33）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.34）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.35）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.36）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.37）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.38）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.39）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.40）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.41）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.42）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.43）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.44）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.45）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.46）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.47）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.48）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.49）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.50）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.51）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.52）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.53）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.54）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.55）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.56）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.57）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.58）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.59）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある
（p.60）	怒り、悲しみ	命が奪われ、平等に生きる権利がある

②感情の源泉を考える 作業時間：10分

どの意見や言葉に対して、どのような感情をもったのか？
 湧き上がった感情の源泉を掘り下げていく。

◎準備シートと変わっても、変えてもOK

◎すべてを埋める必要はなく、書けるところから

◎感じやイメージが伝われば、キーワードだけでもOK

◎感情は一言でまとめる→源泉と混在を避ける

>考え方のヒント

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）
障害者の方の、一時的な状況について、共感、悲しい 伝えないのが、残念と言っている。	障害者は、わからないと思っている人々 かいて、全くそんなことはなくて	共感、悲しい 次第に 意識が 多岐の視点、 想像、 としている。
④感情と源泉を見直す 作業時間：5分 他のメンバーの整理や考え方を聞いたうえで、自分の整理方法を改めて見直す ◎無意識の「思い込み」はないか？ ◎自分や自分の職場を例外扱いしていないか？ ◎自己中心的な考えはないか？		
メンバーによる共有をふまえて、自分の感情と源泉の整理を見直し、自分が「気づいていなかったこと」やバイアス（感じ方の癖）を確認しましょう。 ※障害者への気持ちの変化はありますが、どの人でも、〈何かに気づいてはいない、何かに気づいていない〉という具体的な事にはなっていない。		

語りかけ練習シート その①		シート No. 9-1
以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。		
問いかけ 【誰から】後輩の福祉施設職員、 どうしても反りの合 とは許されないが自分 でしょうか。 【なぜ答えに窮したと思いますか】	問いかけられた状況をイメージして、まずはなぜ答えに窮したか考えます。その後、どのように語りかけるか考えてみましょう。時間は5分です。	
【どのように語りかけるか】 <ルール> *自分が問いかけられたつもりで主観的に「語りかけ」してみる *文章にならない場合は、キーワード+ヒトコトでもOK		

◎各自の「問いかけ」に、メンバー全員で「語りかけ」をする

①自分の問いかけを決める

*問いかけの内容と、誰から、
どんな状況で問われたのかを書く。

②右隣の人にシートを渡す

*自分は左隣の人から受け取って、
「語りかけ」を書く（5分）

②を繰り返す（5分×人数）

*自分のシートがもどってきたら、
メンバー全員の「語りかけ」を見て、
思いや考えを整理する（5分）

【ワークE】「語りかけ」をみんなで考える

「相模原障害者施設殺傷事件」や「共生社会のありかた」について、自分が職場や職場の
関係する人から尋ねられたら答えに悩んでしまうような「問いかけ」をまずは書きます。

自分の問いかけ	右隣からの問いかけ
耳員さんから 「語りかけ」ってどんなことなの？ 具体的に教えて「F」	
あなたのなまえ（ ）	

メンバーからの反応・語りかけ	なまえ
お話をきいて、自分もいろいろ考えた。自分も「語りかけ」って、いい言葉だなって思った。自分も「語りかけ」って、いい言葉だなって思った。	
その話をきいて、自分もいろいろ考えた。自分も「語りかけ」って、いい言葉だなって思った。自分も「語りかけ」って、いい言葉だなって思った。	
その話をきいて、自分もいろいろ考えた。自分も「語りかけ」って、いい言葉だなって思った。自分も「語りかけ」って、いい言葉だなって思った。	
その話をきいて、自分もいろいろ考えた。自分も「語りかけ」って、いい言葉だなって思った。自分も「語りかけ」って、いい言葉だなって思った。	

自分の問いかけ、メンバーからの反応・語りかけに対する思いや考えの整理

* 自分にはまだわからないことがあった。でも、みんなの話をきいて、いろいろ考えた。自分も「語りかけ」って、いい言葉だなって思った。自分も「語りかけ」って、いい言葉だなって思った。

【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理

シート
No. 12

相模原事件のとき

普 段

これから

前
向
き
な
考
え

②

あの当時を振り返って
感じた、自分の現場の
コミュニケーションで、
・よかった点
・安心した点
・希望を感じたところ

①

現在、対内外関わらず
情報共有の機会
意見交換の場などで、
うまくいっている
いい感じ、悪くない
と考えているところ

⑥

将来、
このままの感じで
続けたい
こういうイメージを
実現したい

③

あの当時を振り返って
感じた、自分の現場の
コミュニケーションで、
・危うさや危機感
・怖さ
・ズレや違和感

④

現在、対内外関わらず
情報共有の機会
意見交換の場などで、
うまくいっていない、
なんとかならないか、
と考えているところ

⑤

このまま続けと
いやだなあ...
変えたい
こうなっては困る

否
定
的
な
考
え

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート
No. 13-1

〈対象者：語りを伝えたい相手〉	〈対象の特徴〉 ex.興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc...
〈対象者の現在の状態（課題）〉	〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉
シート12を参考にしながら、 職場の課題解決や業務改善ではなく、 共生社会のことを考える時間を どこで、誰と持つのか？を考えましょう	
〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉	〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉
相模原事件や共生社会を語る、という目的をふまえて、 注意するポイントなどを考えましょう	

37

【ワークC-2】アクションプラン：シチュエーション

シート
No. 13-2

〈語りのシチュエーションの呼び名〉	〈実施する頻度・期間・人数・場所〉
ネーミングにも こだわってみましょう	
〈具体的な方法（プログラム・内容）〉 可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう！	〈語りの際に留意すべきポイント〉 上の〈対象の特徴〉もふまえて
ワークシート、新聞記事 を使うなどの工夫も！	

38

【メモ】

40

【メモ】

41

【お礼と感謝】

受講生の皆さま、お疲れさまでした。

建設的かつ積極的な議論の時間と
運営へのご協力ありがとうございました。

研修を支えていただいた皆さま、
ご協力ありがとうございました。

【閉会あいさつ】

共生社会フォーラム in広島 開催委員会

〇〇〇〇〇〇〇〇

共生 社会 様

【事務連絡】

- ・ アンケートのご記入・ご回答をお願いします。
→メンターは個別にアンケートをお送りします。
- ・ ワークシート（1週間程度で返送予定）、
記入したアンケートを前の箱に入れてお帰りください。